

16番	浅井寿美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1. 市民の生涯学習を保障する場である公民館等の充実と地域コミュニティについて</p> <p><b>【質問趣旨】</b>        学び交流する場である公民館は、本市では昭和27年の中央公民館からスタートし、各地域で生涯学習の拠点として地域コミュニティを支えてきた。また公民館を含む地域コミュニティを構成する組織は、気候変動に伴う自然災害や高齢化による様々な課題への対応など、今後ますます重要になる。公民館での自由な学びと交流、地域コミュニティの持続可能性を高める観点から質問を行う。</p>	<p>(1) 公民館の位置づけについて</p> <p>(2) すべての市民に生涯学習の保障を</p>	<p>①本市の公民館は、2008年度から補助執行という形で事務が行われており、2018年度からは市長直轄組織まちづくり協働課の事務となっている。そもそも教育委員会から首長部局の補助執行となった経緯を伺う。</p> <p>②2019年の法改正で、地方自治体が条例を制定すれば、公民館や図書館などの事務を補助執行ではなく、特例で首長部局に移管できることになった。本市は現在も補助執行のままで移管していないが、理由を伺う。</p> <p>③公立社会教育施設の一つである公民館は、住民の学習権を保障し、地域のコミュニティの形成、子どもや親への支援などの役割を果たしていると考える。教育の中立性、継続性、安定性の確保の観点から教育委員会の所管とされてきた施設であり、首長部局への移管を今後行うべきではないと考えるが、見解を伺う。</p> <p>①まちづくり協働課の事務の中に生涯学習の振興及び支援、生涯学習指導者の育成、社会教育委員及び社会教育指導員に関することとあるが、それぞれどのような事業か伺う。</p> <p>②現在14館ある公民館では様々な生涯学習講座が開かれているが、公民館が廃止され、地域交流センターが設置された地域の生涯学習はどのように担保されているか伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
 2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
 3. MS明朝体、12ポイントで記載する。



16番	浅井寿美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
		<p>③自治会等については地域ごとに実情は様々だが、加入率の低下、担い手不足は共通した深刻な課題となっている。総務省の「地域コミュニティに関する研究会報告書(令和4年4月)」によると「自治会等への加入促進や活動周知の取り組みに係る地方交付税措置を令和4年度から拡充」とあり、自治会等の持続可能性を高めることの重要性は国も認識するところとなっている。同報告書は「そのためには自治会等の自己改革を自助努力にゆだねるだけでは解決が難しく、負担軽減や地域課題解決のサポートなど・・・市区町村側の改革も必要」としているが、認識を伺う。</p> <p>④同報告書によると、自治会等の負担軽減のために、行政から自治会に依頼している「行政協力業務」に関して、それらの必要性を調査するため組織横断的な「棚卸し」が必要とされているが、認識を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

16番	浅井寿美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>2. 子どもの医療費・高校生通院をただちに無料に</p> <p><b>【質問趣旨】</b>            新型コロナ感染拡大のもとで、働き方が変わり、収入が減少するなど多くの子育て世帯に負担が増加し、加えて急激な物価高騰が暮らしを強く圧迫している。可能な限り負担を軽減するため、現在高校生入院まで無料となっている子どもの医療費を、直ちに高校生の通院まで無料にすることを求める。</p>	<p>(1) 子どもの医療費無料化の推移について</p> <p>(2) 子育て支援として直ちに高校生通院無料化の実施を求める</p>	<p>①本市では現在、子どもの医療費の無料の範囲は、通院は中学校3年生まで、入院は高校生までとなっている。これまでの本市の子どもの医療費無料化の変遷について伺う。</p> <p>②全国でも子どもの医療費の無料化が進んだが（高校生入院70%、高校生通院30%）、その背景をどのように考えるか認識を伺う。</p> <p>③市として、これまで無料化を進めてきた理由、目的は何か伺う。</p> <p>①高校生になると学費のほかに通学にも費用がかかり、放課後の部活動や学習塾などが加われば、子どもに係る経費は子育て世代にとって大きな比重を占めている。ここにコロナ禍と急激な物価高騰が加わり、多くの子育て世代の暮らしを圧迫している。本市が高校生の入院までの無料化を決めた時期よりさらに、子育て世帯の暮らしの実態は深刻度を増していると考えerが見解を伺う。</p> <p>②病気やケガをしたときに安心して十分な医療を受けられる仕組みは、命と健康を守るための重要な子育て支援となる。高校生通院の無料化へ制度の拡充を、今だからこそ決断すべきと考えるが見解を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
 2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
 3. MS明朝体、12ポイントで記載する。